

株式会社ヤマウチ

得意な技術・特色のある技術

1. ERP・SUS 製パネルタンク築造技術

配水池・受水槽などの貯水施設を、FRP 製パネル・SUS 製パネルを使用して、短期間に築造することが可能である。自然環境に影響を与えることなく、地元での築造技術者の育成も短期間に行える工法であることから、地元地域の雇用確保・経済還元にもつながる技術である。

2. 管路更生工法(SPR 工法他)

SPR 工法は硬質塩ビ製のプロファイルを、老朽化した下水道管にらせん上に製管。既設管との隙間に裏込め材を注入し、非開削で新管と同等以上に強固な複合管に更生します。

3. 上水道管路調査技術・下水道管路調査及び診断技術

上水道管路内の老朽化状態をサイバースコープカメラを使って調査する事が可能。下水道では簡易カメラ調査に加えて管内カメラ及び衝撃弾性波法を活用した診断技術がある。

4. マッピング技術

当社が取り扱う多機能下水道情報管理システムである ASSYS システムは、サーバーを活用したシステム上に下水道管路情報を反映させ、その情報を継続的に更新すると同時に必要な情報量を追加する事ができる。

製品 PR

1. FRP・SUS 製パネルタンク



積水アクアシステム社で製造・販売する貯水施設には、FRP 製・SUS 製の 2 タイプがあり、製造時に産業廃棄物なども生じないことから、環境インフラ整備が遅れている発展途上国でも、環境に影響を与える心配がない製品になっています。貯水施設を築造する場合、一般的には熟練した技術者の育成が必要になりますが、ボルト組立型の場合は、広範囲にわたる特殊技術を必要とせず、現地技術者の育成も比較的行うことができます。また、特殊工具箱や大型発電機なども必要としない、インパクトレンチとボルト・ナットで組み立てる工法のため、容易に築造することができます。従来の内部補強構造とは異なる外部ボックスフレーム構造により、耐震強度もレベル 2 に対応した高い耐震性を確保でき、さらにモンスーン気候にも耐える風速 60m/s にも対応できます。

2. 下水道更生工法 SPR 工法



小～大口径 (250 mm～5,000 mm) の老朽化水道管を更生する SPR 工法。マンホールから、製管機を管路内に搬入・組立し、管内側に硬質塩化ビニル製のプロファイルを用いた更生管を築造。裏込めを注入し、更生管と既設管を一体化する工法である。

施工上の特徴

- ・道路を掘り起こすことなく施工できる
- ・通水しながら施工ができる
- ・長距離・曲線施工も対応できる
- ・管路施設の耐震化ができる
- ・非開削のため廃棄物の発生がない

3. 強化プラスチック複合管

FRPM 管：300～3000mm に対応。主に大口径下水管の布設管に適している。耐圧性、耐浸食性に優れ、地面の中に埋設する管としては適しており、かつ施工し易いという特徴がある。



4. 衝撃弾性波検査

人間の目を頼りにせず、管路の状態を衝撃弾性波を用いて数値基準データで把握する衝撃弾性波検査が管路調査・診断の精度・効率を飛躍的にアップさせます。※振動周波数の違いにより、埋設管の劣化状態を数値化します。



窓口：山内 知之

TEL: 093-642-2000

FAX: 093-642-2253

E-mail: info@yamauchi-ageha.co.jp

URL: <http://yamauchi-ageha.co.jp/>